



支援総額
1億1,777万8,803円

2016年ミャンマー連邦共和国視察

★ ミャンマー連邦共和国



不活化ポリオワクチンの導入など、ワクチン接種環境は改善傾向にあるミャンマー。しかし、コールドチェーンを備えた医療施設は全体のわずか 25%程度しかありません。特に、ワクチンが届きにくい遠隔地や紛争地の子どもたちには、適切に管理されたワクチン接種環境が十分に整っていません。そのため、2016年度は皆さまのご寄付からワクチン関連機器としてソーラー保冷庫、コールドボックス、そして温度計を中心に贈り、コールドチェーンを強化します。

【支援内容（2017年向け）】54,925,576円

- コールドチェーンなど：ソーラー保冷庫 40台、大型コールドボックス 20台、コールドボックス 1,350台、温度計（冷凍）15,000個、温度計（冷蔵）500個
- ワクチン接種支援ツール：ワクチン接種カード制作、ワクチン管理ツール印刷

ラオス人民民主共和国



依然として子どもの死亡率が高いラオス。ワクチン接種率も低い遠隔地で生まれた子どもの死亡率は、首都ヴィエンチャンで生まれた子どもの約5倍にもものぼります。ラオスでは、自国のワクチン費用を負担する割合は増えていますが、こうした国内格差を是正し、定期予防接種の基盤を作るには、まだ皆さまのご支援が必要です。自国でワクチン費用をまかなえるようになるまで、2016年度も定期予防接種活動に必要なワクチンや関連機器を贈ります。

【支援内容（2017年向け）】20,632,773円

- ワクチン：BCG 200,000人分、MR（はしか／風疹）125,000人分、TD（破傷風／ジフテリア）200,000人分
- コールドチェーンなど：注射器、セーフティボックス（使用済み注射器回収箱）

ブータン王国



所得は増えているブータン王国ですが、自国ですべてのワクチン費用をまかなう体力はまだありません。また、新しいワクチンの導入や出張接種回数の増加により、コールドチェーン機材へのニーズが高まっています。そのため、2016年度はワクチンに加え、コールドチェーンなどの関連機器の支援も行います。国内に2つしかないウォークイン保冷庫を、皆さまのご寄付で東部に新たに設置し、困難を伴う国内のワクチン輸送を最小化します。

【支援内容（2017年向け）】21,664,344円

- ワクチン：経口ポリオ 86,000人分、MMR（おたふく風邪／はしか／風疹）35,000人分、BCG 50,000人分、DPT（ジフテリア／百日咳／破傷風）35,000人分、TD（破傷風／ジフテリア）90,000人分、Hep.B（B型肝炎）23,000人分
- コールドチェーンなど：ウォークイン保冷庫1基、コールドボックス20台、保冷庫2台、温度計（冷凍）500個、温度計（30日間記録）100個、注射器、セーフティボックス

バヌアツ共和国



2010年より行ってきた五価ワクチン支援により、ジフテリア・百日咳・破傷風といった病気からバヌアツの子どもたちの命が着実に守られています。ワクチン接種を受けた子どもの数は改善していますが、必要なワクチン接種回数を終了しない「ドロップアウト」が多く見られます。引き続き、バヌアツの保健省と連携しながら出張接種を支援し、ワクチン接種の重要性を伝えるために両親への教育活動を支えます。

【支援内容（2017年向け）】20,556,110円

- ワクチン：五価（ジフテリア／百日咳／破傷風／B型肝炎／髄膜炎桿菌b型（Hib）による細菌性髄膜炎）37,000人分
- コールドチェーンなど：セーフティボックス、注射器、出張接種費用（保護者への啓発教育）、コールドチェーン整備